

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会
〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10
電話 098-930-2525 (にこにこ)
FAX 098-933-1324
ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>
メール info@ryokujukai.or.jp



飛行日誌

毎週土曜日は、のんびきならない用事が無い限り、約90キロ離れた山原(東村高江)へ、家内とともに約二時間半かけて車で向かう。目的は、癒しを兼ねた農業を楽しむためである。勿論、日帰りである。数えてみると、平成17年3月末に定年で沖縄市役所を退職する一年前から通っているのもうかれこれ11年余になる。

きっかけは、家内の姉が高江集落で一人暮らしをしていて、病弱により食生活が心配で栄養のある食物を二週間毎に届けるうちに、亡き両親が残した遊休化した土地の活用を思い立ったからである。早速、広大な土地改良地域内にある猫の額ほどの畑を耕作し、2〜3種類の果樹を数十本植え込み、生き甲斐、楽しみの場として現在まで、時間が経つのも忘れるほどにがむしゃらに温めてきた。しかし、果樹に対する専門的な知識があるわけではなく、巷にある雑木同様に捉え、簡単に育てられるかと思っていたら、なんと自分の予測を遥かに超えた被害、いわゆる台風や干ばつ、病害虫、害鳥及び猪等で、現在でも苦労させられている。でも自然の作用や動物の営みの対応には限界があり、成す術もないが、しかし、少年時代から植物に興味を持ち、また、果樹の栽培に思いを抱いてきた者としては頑張る以外にないと思っている。

でも、5〜6年かけて精力的に手入れした樹木が春先の新芽に花を咲かせ、それが結実し、やがて秋の収穫の時期になると、その出来栄えに関わらず感慨無量で、これまでのすべての苦労が吹っ飛び、又やる気を起こさせる。他人には理解できないかもしれないが、よく言われている「わかつていけど止められない」のである。しかし最近、年のせいかわかっているけど止められないのである。そろそろ潮時かなと思っはいるが、我が子の如くすっかり愛情が染みついてしまったので、あとしばらくは続けることにしている……。

結びに、車の運転もできず、いつも同伴して万が一の連絡役と手伝いをしてくれる家内には心から感謝している。(徳元将己)

新理事長就任

5月23日付第3回理事会において金城洋子（かなぐすくようこ）が第六代社会福祉法人緑樹会理事長に就任した。



就任から半年を経過しまして理事長と言う職責の重さを改めて感じる日々です。そんな時、心の支えになるのは職員の方々の笑顔です。現在、緑樹会には約二百名の職員がおります。昨今の報道に

ありますよう、老人福祉を取り巻く環境には沢山の課題があります。その中でも職員達はいつも笑顔で忘れないでくれます。思い出深いのは今年の夏、旧盆のエイサーです。暑い中、浜川通統括施設長を筆頭に職員達が三施設を巡り、利用者にエイサーを披露しました。演舞の素晴らしさもさることながら、光る汗の裏に更に輝く瞳を見たとき、ああ、緑樹会はこの職員ひとり一人の笑顔によって支えられているのだな、と実感しました。この職員達が緑樹会を支え、利用して頂く方々の日々の生活のお手伝いをさせてもらっていることを思うと、とても頼もしく、心からの感謝と、涙が零れ落ちそうになるほどの愛おしさを感じました。

「緑樹会は働く職員みんなのモノ」。これは私が前任者から引き継いだ大事な言葉のひとつです。今改めてこの言葉を胸に、職員ひとり一人が笑顔に満ちた人生を歩んで行けるよう、そして何よりも利用者皆様に安心して幸せな日々を過ごしていただけるよう理事長として努めてまいります。職員の方々と、今年一年本当にご苦労様。来年も一緒にがんばりましょう。



2015~2016 社会福祉法人 緑樹会

ゆく年、くる年

新百歳祝・風車祝・米寿祝・生年祝 9月13日(日) NBCホール
総勢17名 新百歳は3名 最高齢は107歳!!

第3回国際ひやみかち節コンクール 3月14日(土) 沖縄市民小劇場あしびな~
本選出場10組 ひやみかち大賞はLacorde(ラコルド)



中には曾孫まで駆けつける家族も少なくなく、四代が顔をそろえる祝席は、まさに長寿の島「沖縄」を実感させた。

9月13日には新百歳祝・風車祝・米寿祝・生年祝が開催された。緑樹会にとって一年で最も大切なこの日、長寿を祝ったのは新百歳3名を始めとする計17名の方々。家族や関係者から祝福を受けた。夫婦そろって米寿祝・生年祝を行う利用者も数組あり、子や孫、



次回、第4回大会は平成28年2月21日に開催される。現在出場者募集中。第3回大会ひやみかち大賞のLacordeはゲストプレイヤーとして登場する。



3月14日には第3回国際ひやみかち節コンクールが開催された。20組以上の一般公募から選出された10組がフラメンコ、ヒップホップアレンジなど、バラエティ豊かな演奏で会場を沸かせた。最高賞「ひやみかち大賞」に輝いたのはピアノ、三線、バイオリンの男女3人組ユニット、Lacorde(ラコルド)。繊細なピアノに流麗なバイオリンを絡め大胆にアレンジされたその演奏はどこまでも美しく、見る人を魅了した。

沖縄県広域地震・津波避難訓練

11月5日(木)、大規模地震・津波の発生を想定した避難訓練が行われました。これは、県民の避難行動に特化した県下全域を対象とする実践的な訓練を通して、地震・津波に対する防災意識の啓発や津波避難計画等の検証を行うことにより、防災体制の向上を図ることを目的に全県下で実施されました。



介護老人福祉施設緑樹苑では、時間を午後2時30分に設定し、入居者34名、職員14名が参加して避難訓練を行いました。まず非常放送で本日の避難訓練の目的を説明し、訓練を開始しました。当日は小雨が降る天候だったため、避難場所に設定した中庭駐車場へは下りず、2階非常口前までの避難誘導訓練となり、非常口前に集合した入居者及び職員には、もう一度本日の地震・津波を想定した訓練の内容、また普段から避難経路を熟知するようにとの説明を行いました。(兼城正彦)

Happy Halloween

みどり学童クラブ



みどりっこの達の足取りも軽く、今年は、数日前からダンスの練習にも、ちよつと力が入ったようです。選曲からダンスの練習と、美佳子支援員も必死でした。なかには、センターを飾るべく、コスチュームもなかなか決まった児童達。さあ本番と、ケアハウスでいんさぐぬ花、はいびすかす、特別養護老人ホーム、デイサービス、居宅支援事業所と、各施設をまわりました。皆さんの前で「あつたかいんだからあ〜」の曲が流れだし、さあダンスを...ところが、利用者さんの前では、なぜか練習のときのようにいかず、ちよつと残念。意外とシャイなみどりっこの達でした。その後は、一番街まで移動し、「トリックオアトリート!!」と、た

くさんのお菓子をゲットしてきました。施設の皆さん、そして一番街の皆さん、ありがとうございました。(新垣春美)



ケアハウスでいんさぐぬ花 ハロウィンということでもみどり学童クラブの子ども達も色々な仮装姿でケアハウスでいんさぐぬ花に来てくれた。可愛らしい踊りを見せて利用者の方から拍手喝采を受けていた。握手したり、衣装に触れたりして、楽しい交流会となった。子供達は、利用者からお菓子をもらい「また来年も来るからね」と喜びながら、次の訪問先へと向かって行った。(川上昌子)

秋の遠遊会

介護老人福祉施設緑樹苑



11月11日(水)、介護老人福祉施設緑樹苑では遠遊会が行われました。心地よい日差しと穏やかな秋風の中、入居者10名及び職員5名で目的の嘉手納町を目指してバスは午後2時30分に出発しました。久しぶりのドライブを皆さん楽しみにしていて、崎原介護主任のガイドで、沖縄こどもの国、イオンライカム、北谷アメリカンビレッジ、嘉手納町の県指定文化財記念物史跡野園総官をまわりました。車中からは、あまりにも変わったライカム周辺に「大きな建物だね」とつぶやかれた様子でした。その後入居者は各地の風景を楽しみながらガイドの説明に視聴されながら賑やかな笑い声、拍手もあり、目的地の野園総官史跡に到着。海風を感じながら休憩をとり玄米茶とおやつを頂いた。有意義な時間の遠遊会となりました。(橋詰金子)

第112回

沖縄県老協訓練員会

「ホットパック」の効能と効果、その作り方を実演

11月12日(木)、『第112回沖縄県老協訓練員会』が緑樹苑で行われ、北は国頭村辺土名から南は南城市大里まで20施設の機能訓練担当者26名の参加がありました。内容は「ホットパック」の効能効果と手軽に作れるホットパックを題にして行いました。まず、ホットパックの効能効果・禁忌事項等を説明し、ホットパックで使用する温熱器からの漏電と思われる火災事故やホットパックの取り扱いの注意点を説明、休憩を挟み、緑樹苑で使用している手軽に作れるホットパックの作り方を実演し、参加者にも作ってもらいました。手軽で安価の評価を頂きホットパックを所有していない施設から、自施設でも作って試してみたいと好評を得ました。(賀数実)



みどり学童クラブ 赤い羽根共同募金 街頭募金活動



10月24日(土)、サンエー中の町店でみどり学童クラブの児童5人で、「赤い羽根共同募金」の街頭募金活動を行いました。始めは緊張していた子ども達ですが、通行人から「頑張ってるね!」「えらいね!」と声を掛けてもらいながら、一生懸命、大きな声で募金活動を行いました。子ども達は、約2時間立ちっぱなしで声を出し続けて疲れもあったと思いましたが、募金をしていただいた皆さんに「ありがとうございます!」と大きな声でお礼の言葉をしっかりと伝えていました。後ろで見守っていた私は、子ども達の頑張り嬉しくなりました。今回の募金活動では、15,124円の募金が集まりました。募金をしていただいた皆様、ご協力いただいたサンエー中の町店様に感謝申し上げます。ありがとうございました。(佐久田美佳子)

第9回 日本介護支援専門員全国大会 参加報告

全国大会に参加して



緑樹苑居宅介護支援事業所 介護支援専門員 小澤 栄子

10月2日(金)〜3日(土)、にかけて、千葉県で開催された『第9回介護支援専門員全国大会』へ参加しました。大会では、『私たちの“しんか”(進化・深化・真価)を考へ、共に育ち・共に生きるく地域を育み多職種と結び合う』をテーマに、記念講演や研究事例発表、教育講演と、幅広い話を聴くことができた。大会を終え、介護支援専門員として実践してきた活動を振り返りつつ、取り組むべき3つの“しんか”(進化・深化・真価)を取り入れ、更なるケアマネジメント力の向上を図っていき、高齢者が、できる限り住み慣れた地域で最後まで尊厳をもって自分らしい自立した生活が送れるように、側面から支援していく一員でなければならぬと再認識する研修でした。

全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会 参加報告



高齢者支援センター 緑樹苑 支援員 福里 康

10月21日(水)〜22日(木)に宮城県仙台市で『地域住民の暮らしを支える地域包括・在宅介護支援センターの役割』をテーマに全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会開催された。日本慢性期医療協会副会長の池端先生による講義で『今後、入所や入院されていた高齢者が住み慣れた家に帰りたいとの思いを支える事がこれまで以上に必要になるため支援センターは今後、生活支援コーディネーターとして地域での見守りや支援サービスの新たな担い手を育成することが求められる』という言葉が印象に残った。支援センターは今後も沖縄市を主体とした支援体制の強化を目指し他職種や地域との関係作りを深めると共に地域での担い手の育成支援に努めたい。

インフルエンザ・ノロウイルス 予防対策講座

10月30日(金)、緑樹会職員を対象に、産業医の垣花悠子先生による『インフルエンザ・ノロウイルス予防対策講座』が行われた。講座では、ノロウイルスにはワクチンが無く、徹底的な手洗いが有効で、インフルエンザの予防にはワクチンの接種が有効。罹った場合には抗インフルエンザウイルス薬の服用が有効であるとのお話があった。

また、看護師の上原課長からは、過去の施設内での感染状況や感染対策についての説明がされた。特に最近の感染対策については垣花先生より褒めていただいた。今後も連携して予防と対策を行っていききたい。(谷光江)



シリーズ

職員エッセイ



緑樹苑給食センター 管理栄養士 儀間 真七美

私が所属する給食センターでは、沖縄市在住の高齢者のお宅へ食事を宅配しています。配達の際には安否確認も行い、コミュニケーションをとるよう心がけています。また、さまざまな食事形態の利用者がいらつしやるので、制限食など高齢者一人ひとりの状態に合わせた食事形態で提供することが大切だと改めて実感しました。今後は、利用者の健康維持や食事の資質向上のために、食べやすさだけでなく、味・見た目・栄養バランスに配慮し、毎日食べても飽きのこない献立を提供していきたいと思えます。

PHPかりゆし友の会定例会 “琉球・沖縄の「絵画」の変遷”

後援会事務局だより

去る11月14日の定例会は翁長直樹氏(県立博物館美術館元副館長)を講師に招き、琉球・沖縄の絵画の変遷について講演が行われた。

中国や朝鮮、日本と広く交易する中で独特の文化を形成した琉球。絵師制度もあり独自の発展があった王朝期、日本の隆盛や洋面も流行した戦前、具象から抽象への新たな特徴ある戦後、固有性や社会派の台頭が現れた復帰後、そして多様な技法や形式で従来の枠に当てはまらない新しい伝統を求める現代。時代背景にあわせて代表作を取り上げながら説明された。六論衍義を学んでるので程順則の肖像画を見ることができてよかったです。『與那覇朝大はどこに分類されるか』等、質疑も活発かつ芸術の秋にふさわしい定例会となりました。今回は絵画を切り口に琉球の歴史を垣間見たが、他美術工芸や音楽、芸能を視点とした琉球へそれぞれ思いを馳せる時間となったのではないだろうか。次回の定例会にも期待したい。(幸喜穂乃)



講師: 翁長直樹氏



PHPかりゆし友の会

- 次回:平成28年1月9日(土)予定
■連絡先:090-1945-0752(田中)、080-1542-8543(與古田)

礼楽塾

礼楽塾とは、緑樹会に集う人々が「礼」によって美しく調和し、「楽」によって自らの人生を謳歌することを目的に行われる後援会会員のための活動です。日程が変更になる場合もあります。参加ご希望の方、また新たに活動を始めたい方、こんな活動があったらいいなアイディアも、ぜひ、事務局までご連絡下さい!(*印は、会場が講師の道場等となります。)

- 三板 第2・4(火)
■王府おもろ* 第2・4(水)
■御座楽・路次楽* 毎週(火)
■応急手当法 第3(木)*変更あり
■島言葉 第1・3(水)
■湛水流三線 第3・4(月)
■クエーナ 第1・3(水)
■PHP勉強会 各施設ごと
■介護福祉士受験対策塾 第2・4(火)

平成27年度後援会年会費(2,400円)を徴収いたしております。左記口座までお振込み下さいますようお願い申し上げます。

なお、この後援会だより(竹とんぼ)は、年会費より輸送費をねん出してあります。ご了承ください。

《年会費振込先》

沖縄銀行 普通口座 No.1428115
名義:(福)緑樹会緑樹メンバーズ
代表 與座達男

2016年新春 第31回緑樹会記念 地域交流グラウンドゴルフ大会 開催のお知らせ

会場:沖縄県総合運動公園 屋内運動場レクドーム
期日:平成28年1月29日(金) 競技開始:09:30~
参加費:800円(弁当・飲み物・保険料込み)

お申込み:別紙、申込用紙に必要事項を記入のうえ、下記までお申し込みください。

申し込み・お問い合わせ
ケアハウスていんさぐぬ花
電話:933-8080
FAX:923-0027
担当:桃原・砂川

申込締切:平成27年1月22日(金)

12月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさくぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(火)			手工芸		
2(水)		ミニシアター	映写会	映写会	
3(木)		カラオケクラブ		ハンドマッサージ	
4(金)			脳トレ	手芸クラブ・手作りおやつ会	
5(土)		年末大掃除	輪投げ		園外活動
6(日)	家族会清掃		カラオケ		
7(月)		手芸クラブ			
8(火)		三板クラブ	手工芸	映写会	
9(水)		防災訓練	映写会		
10(木)	防災訓練	書道クラブ	スカッシュボール	防災訓練	防災訓練・舞台交流
11(金)			脳トレ	手芸クラブ	
12(土)			輪投げ		園外活動
13(日)			カラオケ		
14(月)		手作りおやつ会	ボウリング	映写会	
15(火)		三線	手工芸		
16(水)		ミニシアター	映写会	手作りおやつ会	
17(木)		カラオケクラブ・美化活動	スカッシュボール	誕生会	デイサービス交流会
18(金)	誕生会	誕生会	誕生会	手芸クラブ	
19(土)			輪投げ	映写会	園外活動
20(日)			カラオケ		
21(月)		お茶クラブ	ミニドライブ	クリスマス忘年会	
22(火)	クリスマス忘年会	三板クラブ	手工芸	手作りおやつ会	
23(水)	防災訓練	防災訓練	映写会	防災訓練	防災訓練
24(木)		散髪・書道クラブ	スカッシュボール・散髪	苑内交流	デイサービス交流会
25(金)		クリスマス会・忘年会	クリスマス忘年会	手芸クラブ	クリスマス・十八番大会
26(土)			輪投げ		園外活動
27(日)			カラオケ		
28(月)			お茶会		
29(火)			手工芸		
30(水)			映写会	映写会	
31(木)			スカッシュボール		学童休園日

あつという間に師走を迎えました。
 緑樹会では、今年も多くの出来事があり、また各施設でも一年をとおしてたくさんの行事やレク活動などが行われてきました。その様子を毎月の竹とんぼで紹介してきましたが、ページの関係で紹介しきれない事も多くありました。

そこで!!、緑樹会ではこの度、ホームページをリニューアルいたしました。法人や施設の紹介情報だけではなく、法人からのお知らせなども随時、掲載していきます。また、各施設やみどり学童クラブのプログラムも立ち上げ、利用者や児童達の日々の活動の様子も紹介していきます。ぜひ、ご覧ください。
<http://www.ryokujukai.or.jp> または「緑樹会」で検索!!(砂川智規)

編集後記

介護職員募集のお知らせ

緑樹会では介護職員を募集しています。未経験者でも丁寧に指導していきますので、安心して働けます。詳しい内容は下記までお問い合わせください。
 また、ハローワークでも詳しい求人情報を掲載しています。

電話098
 930-2525
 担当：砂川まで

(平成二十七年十月一日～十月三十一日)
 (物品の部)
 宮平節子様

感謝録

温かい御支援、御協力下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。

